

令和4年3月10日
構造改革推進アドバイザー会議

令和3年度の取組結果及び令和4年度の主な取組予定

1 中野区構造改革実行プログラム（実行プログラム）に関する取組

(1) 実行プログラムの策定

第1回構造改革推進アドバイザー会議（令和3年7月9日開催）における構造改革推進アドバイザーのご助言や区民意見等を踏まえ、令和3年8月に実行プログラムを策定しました（参考資料1）。5つの戦略と28の個別プログラムを設定し、取組を進めています。

(2) 個別アドバイスの実施

プログラムの深掘りを行うため、構造改革推進アドバイザーの皆様から専門的知見によるご助言をいただきました。

(個別アドバイス実施状況（開催順）)

テーマ	講師/開催日	概要
債権管理体制の強化	永嶋 正裕 氏 (8月23日)	債権管理一元化に向けた課題（法令、個人情報、システムなど）について、主要債権所管の幹部職員とのディスカッションを実施。区の債権管理体制の強化に向けた課題認識と検討を深めた。
区有施設の財産経営	山本 康友 氏 (11月4日)	施設マネジメント専管組織、施設の包括管理、有効活用策などの具体的な検討課題について助言いただき、専管組織設置検討の一助となった。
DXにおける組織のあり方	若生 幸也 氏 中井 雅也 氏 (11月18日)	DX推進の体制整備、経営層のマネジメント手法について事例紹介をいただいた後、区の現状や課題などについて区幹部職員とのディスカッションを実施。職員の意識改革の重要性を共有した。
公助と共助が連携した若者の居場所づくり～不登校支援の取組を中心として～	今村 久美 氏 (12月20日)	「誰一人取り残さない学び」について、自治体や学校と支援団体との連携事例の紹介をいただいた後、子育て・教育関連所管の幹部職員とのディスカッションを実施。連携の重要性に関する認識を共有した。

(3) 財政効果の試算、予算編成におけるビルド・アンド・スクラップ

令和4年度予算編成過程において、構造改革の視点（参考資料1の6ページ参照）を踏まえて、事業の見直し及び経費削減に取り組みました。

個別プログラムの推進による財政効果額は、総額5億5,000万円余と試算し、また、新規事業と既存事業の見直しを一体的に行うビルド・アンド・スクラップにより、6,800万円余の経費削減を行いました（詳細は参考資料2参照）。

2 行政評価に関する取組

行政評価は、事業の効果を実績・コストから評価することにより、事業の継続・改善・統廃合等の判断を行い、次年度の予算編成につなげることを目指すとともに、行政サービスの提供をうける顧客としての区民満足度の向上を図ることを目的としています。第2回構造改革推進アドバイザー会議（令和3年10月25日開催）では、行政評価実施手法の見直し検討にあたって模擬評価を実施し、構造改革推進アドバイザーの皆様からご助言をいただきました。

令和4年度に実施する行政評価（令和3年度に区が実施した事業の評価）については、内部評価を経て外部有識者による評価（外部評価）を実施し、評価結果を次年度予算編成に反映させることとしました（詳細は参考資料3参照）。

3 令和4年度の主な取組予定

(1) 実行プログラムの更新

実行プログラムは毎年度更新することを想定しています。個別の課題についての取組の進捗状況を確認・検証し、翌年度以降の取組目標に反映するほか、新たな課題を実行プログラムに位置づけていきます。

実行プログラム更新内容の検討にあたっては、本日のアドバイザー会議における議論を踏まえるほか、個別プログラムの進捗確認及び検証、課題整理、区民意見聴取を行います。

(2) 構造改革の推進に向けた政策議論

構造改革の推進に向けた職員の意識改革を促すため、令和4年度は、構造改革における3つの再編（施策・施設・組織）の各領域に関するテーマを設定し、区幹部職員による政策議論の充実を図ります。

当該政策議論には構造改革推進アドバイザーが参加し、専門的知見によるご助言をいただくこととし、区政課題の解決に向けた大局的・総括的な議論を行う場として位置づけます。